

こんにちは 森林官です!

根釧西部森林管理署 標茶森林事務所
首席森林官 高田 敏彦 (写真中央)



【地域のご紹介】

標茶森林事務所は、釧路市中心部から北東に約50kmの標茶町市街地に所在します。標茶町は、町の面積の約66%が森林で、人口は約7,300人、主な産業は酪農であり、乳用牛や肉牛の飼育が盛んな地域です。

また、町の北端には西別岳^{にしべつ}があり、春から秋にかけて多数の登山客が軽登山を楽しむスポットとなっています。一方、町の南部は、釧路湿原や塘路湖^{とうろこ}がありカヌーや釣りが人気であるほか、湿原の大自然を縦断する「くしろ湿原ノロッコ号」も有名です。冬季にはタンチョウが多数飛来し、スポーツや自然を存分に満喫できる地域として、年間を通して観光客が絶えません。

【標茶森林事務所の特色】

標茶森林事務所は、標茶町及び弟子屈町と厚岸町の一部の国有林約1.7万haを管轄しており、山火事で荒廃した原野に森林を造成したパイロットフォレストの一部も含まれています。

標茶町市街地周辺の国有林は山岳地形、南側の厚岸側は湿地、北側の虹別地区はほぼ平坦な地形が多いなど変化に富む現場となっているのが特徴で、パイロットフォレストの象徴である昭和30年代に植栽されたカラマツ人工林が多いのも大きな特色の一つです。

【標茶森林事務所の業務】

標茶森林事務所職員は2名であり、合同森林事務所内の真竜^{しんりゅう}森林事務所職員2名と協力し、毎日の業務を行っています。

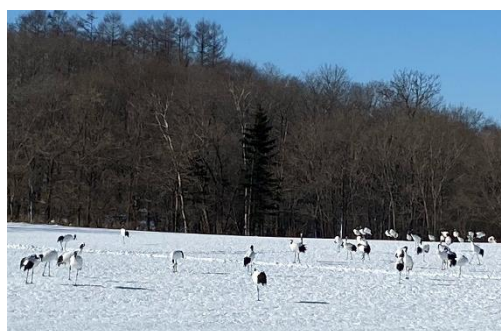
この時期の当事務所の業務は、地況・林況調査が主体であり、今後の森林整備に向け、森林整備箇所や樹種ごとの蓄積等の状況を把握するため、全天球カメラやドローンで撮影した森林の画像を専用のソフトで解析し、必要なデータを蓄積しています。

森林整備の事業が多い事務所であり、特に丸太を生産して販売する製品生産事業では、根釧西部署の年間生産量約8.5万 m^3 のうち、約3万 m^3 を当事務所部内で生産します。また、苗木の植付が約80ha、植付後に雑草木等から植栽木を守る下草刈は約750haと道内でも有数の事業量で、各事業ごとに現場の確認や請負者との打ち合わせ等に、日々、部内を走り回っている状況です。

【最後に】

当事務所に着任して1年半になりますが、雄大な自然の中で豊かな動植物にも囲まれながら業務を行うことができ、非常に健康的で有意義な時間を過ごしていると感じています。

皆様も、道東にお越しの際は是非、標茶の国有林をお楽しみいただければ幸いです。



写真：(左) 牧草地から望む西別岳 (中) 冬季に飛来するタンチョウの群れ (右) 業務中に現れたエゾシカ